

ジャパンシリーズ 2014 富士見パノラマ (第3戦) レースレポート

BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM 齊藤 亮

+++++

大会名：JAPAN SERIES 2014 FUJIMI PANORAMA (XCO #3)

期日：2014年6月1日 (日)

会場：富士見パノラマリゾート / JCF 公認 XC
コース

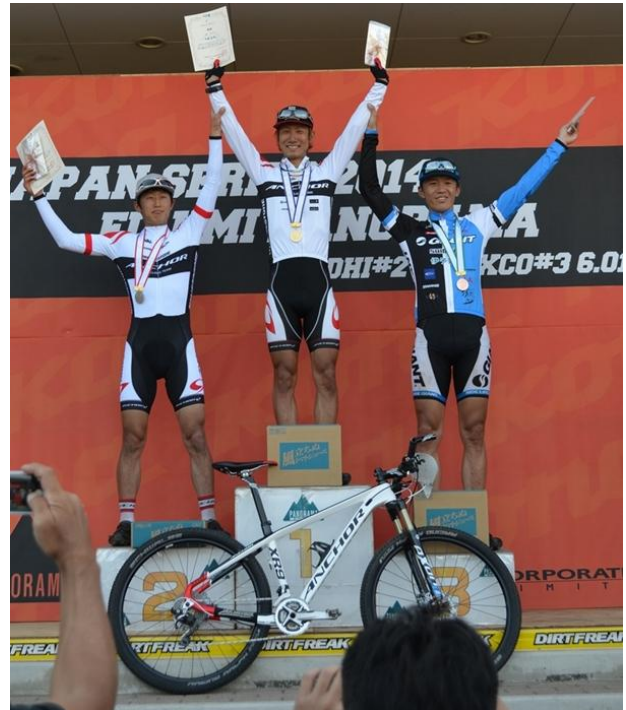
天気/気温：快晴 /29℃

競技種目：男子エリート 4.6km×7周回

参加数：82名

結果：優勝

Web：<http://j.dynoco.jp/>



+++++

シリーズ 3 戦目の舞台は富士見パノラマスキー場。前戦から 2 週続けての今レースは、気力体力共に回復させるには十分な時間が足りない。しかし条件は皆一緒。最大限の体のケアとアプローチでレースに向けた準備を進めていく。

走り慣れた富士見パノラマも今年はコースレイアウトを大幅に変更。コース後半は大胆にカットされており、コンパクトで観戦もし易く、新たに 4X コースをレースコースの一部として使用する事で「魅せる」要素もプラスされ、走っていて楽しいコースになった。梅雨入り間近と思いきや、天気予報を見る限り晴れマークがズラリと並ぶ。しかも 30 度超えの真夏日予報・・・。

前日のコース試走では完全ドライコンディションのため非常に走りやすいが、土埃がすごく路面はパフパフ状態。新設されたセクションもあり、ゆっくりと試走を行い、最速ラインを探し見極め、レース展開もイメージしながら勝負所を探る。木の根っこ、岩や石などの位置を何度も確認しながら試走を繰り返した。タイヤ選択にはあまり悩むことなく、お気に入りのドライ系タイヤをチョイス。ケミカルはお馴染みのホルメンコールでナノコーティング。サスペンションは信頼感があるサンツアーでお好みのセッティングにチューンナップ。今回もチームスタッフとサブライヤーさんの強力なサポート体制でレースに挑むことができ精神的に心強い。

ここ富士見パノラマの会場では、毎年数多くのレースが開催されているので走り慣れたホームコース。そしてこのレース会場では多くの思い入れが詰まっている。多くの喜びと失敗、悔しさ、

怒り、挫折・・・全ての経験が今の自分の糧となっている。今レースも勝つことだけが全てと考えずに、今の自分の力と技を全て出し切ることが意識してスタートラインに立った。男子エリートのスタートは13時30分。最前列に並び号砲の瞬間を待つ。この雰囲気と緊張感はやはり独特だ。そしてこの緊張感を感じないとベストパフォーマンスが生まれることはない。号砲一発、良い反応でクリートをキャッチ。スタートダッシュに成功するも、今回も若手選手はスタートダッシュが速い・・・一気に乳酸を出し過ぎないように心掛け、最初のシングルトラックを4番手で進入。序盤からハイペースでレースが進んでいくが理想の展開。乳酸をうまく処理しながら乱れる呼吸を慎重に整える。ライバルになりそうな選手の動きをチェックしながらも自分のペースとリズムを守る。1周目中盤からは小野寺選手(MIYATA-MERIDA)と自分が抜け出し、2名パックで積極的にペースを上げていく。後続は消極的なのか着いてくる気配はなく、前半からまとまったパックにならず単体でレースが進むカタチとなった。2周目以降は単独となり、お気に入りのSUUNTOの時計でラップタイムを計りながら、緩急を付けた走りでのリズムを作る。後続とのタイムは周回を重ねる度に差が開いているのは確認出来たが、自分のラップタイムを落とさないように集中して周回を重ねていった。自分の前を走る見えないライバル・・・妥協したら全てが台無し。暑さで気持ちが何度も折れそうになるが、最終ラップにベストラップを叩きだそうと最後まで果敢に攻めた。乳酸で脚が熱い・・・呼吸が乱れて苦しい・・・。自分の限界を自分で決めないようにプッシュし続けた。惜しくも最終ラップでベストラップを叩き出すことは出来なかったが、2位のチームメイト平野選



手に2分14秒差を付けて優勝することが出来た。

アンカーチームでのワンツーフイニッシュはやはり最高に気持ちがいい。今レースは自分の持ち味をしっかりと表現できたので満足はしている。しかし追い込んでいるときの冷静な判断やラインミスなど、細かい部分はまだまだ未熟。それも含め色々な課題と弱点があることにも気付かされる。開幕戦から3連勝することが出来、個人としてもチームとしても良い流れで結果を残すことが出来ている。そして、多くのスポンサー、サプライヤーさんに支えられてレース活動ができていることを心から感謝すると共に、一番好きなことを全力で取り組める環境を整えてくれている家族には本当に感謝したいと思う。また気持ちを切り替えて2週間後(6月14日)の岩手県雫石町で開催されるシリーズ第4戦に向けて準備を進めていきたい。たくさんの応援、サポート本当にありがとうございました。次戦も自分らしく熱い走りができるよう一生懸命頑張りますので応援よろしくお願いします。



【リザルト】

1. 齊藤 亮 長野県/ BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM
2. 平野星矢 長野県/ BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM
3. 門田基志 愛媛県/ TEAM GIANT
4. 千田尚孝 愛知県/ 自転車村シーラカンス
5. 中原義貴 大阪府/ Cannondale
6. 恩田祐一 新潟県/ MIYATA-MERIDA BIKING TEAM



【使用機材】

バイク：ANCHOR / XR9

コンポーネンツ：SHIMANO / XTR FC-M985

ホイール：SHIMANO / XT WH-M785

シューズ：SHIMANO / SH-XC90

ペダル：SHIMANO / PD-M980

ハンドル：SHIMANO PRO / XCR

ステム：SHIMANO PRO / XCR

シートポスト：SHIMANO PRO / XCR

フロントフォーク：SR SUNTOUR / AXON-WERX-RC-RL-RC AH CTS 27.5/100MM

タイヤ：BRIDGESTONE / EXTENZA XC (27.5×2.1)

サドル：fi'zi:k / TUNDRA

ヘルメット：KOOFU / WG-1

サングラス：adidas eye wear / evil eye halfrim pro / グレイメタリック

ケミカル：HOLMENKOL

チェーン：ルーベエクストリーム、ダートプロテクター

フレーム：スポーツポリッシュ、アクアスピード

クリーナー：ライニガー、スポーツクリーン、バイクウォッシュ、クリーナー8in1

ウェア、シューズ：ハイテクプルーフ

サングラス：ノーフォグ

時計：SUUNTO / AMBIT2S

メーター：パワータップ G3 プロ MTB ハブ / ジュール GPS

ネックレス：SEV

ドリンク：SAVAS (株式会社明治)

サプリメント：SAVAS (株式会社明治)

レースウェア：WAVE ONE

レースグローブ：KABUTO / PRG-3

アンダーウェア：CRAFT

インソール：SUPER feet / Black

アパレルウェア：Columbia

ザック：deuter

テーピング：New-HALE